

保護者の皆様

通行規制への対応（府道中津原寺元線）について

千早赤阪村立千早小吹台小学校
校長 山下 桂 滋

保護者の皆様にはご健勝にお過ごしのことと存じます。平素は本校教育にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

さて、標記の路線は連続降雨量が150mm以上になると通行止めになります。（6時間以上降雨がなければリセット）雨量計は本校屋上に設置され、自動制御になっています。（村のホームページに出ている連続降雨量の値とは若干異なります。）通行止めになる頻度は10年に1度程度ですが、最近の気象状況から対応をお知らせする必要があると判断いたしました。

つきましては、通行止めのため通学バス（Bコース）が運行できない場合には、下記のように対応いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

記

I、登校前に、連続雨量が150mmを超え、通行止めになった場合 （警報が発令されていない場合の対応です。）

- ① 午前7時までに、150mmの通行止めの連絡があった場合
警報発令時と同じ対応をする。
学級連絡網等を利用し、全家庭に連絡をする。
全児童自宅待機（登校した児童がいる場合は学校待機・家庭へ連絡）
- ② 通行止めが解除され、安全が確認できた時点で登校する。
学級連絡網等を利用し、全家庭に登校再開の連絡をする。
通学バス利用者については、通学バス運行時刻・授業開始時刻等の連絡をする。
- ③ 午前9時までに解除されない場合は、臨時休校とする。（電話連絡はしない。）

II、登校後に、連続雨量が150mmを超え、通行止めになった場合 （警報が発令されていない場合の対応です。）

- ① 通常通り授業を行い、終了後、Bコースバス利用児童は学校で待機する。
通行止めになった時点で、Bコースバス利用家庭にバス連絡網で連絡をする。
保護者・教育委員会の送迎が可能になるまでの間、学校で待機する。
- ② 諸般の情報から、150mmを超えると予想できる場合は、対象児童の繰り上げ下校を行う場合があります。（その際は、Bコースバス利用児童の家庭に連絡をする。）

※ 警報発令時の対応は「警報発令時の対応について」（裏面）を優先する。